

31047 慢性期看護論Ⅲ（精神） a、b Theory of Chronic Patient Nursing III (Mental)		3 年次～ 前期 2 単位	
担当者	坂江 千寿子／栗原 加代／松永 晃／池内 彰子	履修可能学科	N 必
		関 連 資 格	看護(N)
サブタイトル	精神障害者の理解と看護のために		
授業内容 ・ ねらい	日本における精神医療の歴史は、現在の精神障害者の生活実態へも様々な影響を及ぼしている。最初に歴史的背景を概観し、慢性的な経過を辿る対象者の看護に必要とされる法的根拠や倫理的感受性を高める方法を学ぶ。セルフケアと自立促進の視点から、対象者および家族をアセスメントする方法と自立と社会参加のために必要とされる看護援助について学ぶ。 1. 精神医療と看護の歴史、法律の変遷を理解し、看護場面における倫理観を育成する。 2. 回復期・慢性期にある対象者のセルフケアレベル向上に必要とされる治療・看護の方法を理解する。 3. セルフケアのアセスメントツールを活用して対象を把握し、看護過程の展開ができる。 4. 精神障害者の社会復帰のために必要とされる法的根拠、資源と他職種連携について理解する。 5. 精神障害によって家族が受ける影響を理解し、家族支援の方法を学ぶ。		
授業計画	1. 精神医療・看護の歴史 ・精神障害者への権利擁護の課題 - アサーションの基本 - 倫理原則と倫理的問題の検討 2. 精神医療に関する法律の変遷 ・精神保健福祉法による看護の法的側面 3. 精神障害者のセルフケアレベルの把握 4. 各種治療における看護 5. 社会的入院患者の現状と看護者の課題 6. トータルリハビリテーションの概念とリハビリテーションモデルの概要 7. 精神医療にかかわる職種と社会資源 8. 精神障害者の地域生活支援 9. 家族が受ける影響の理解と家族支援 10. 統合失調症患者の内的世界の理解 11. 社会復帰を目指す精神障害者の看護過程の展開 12～15. 精神障害をもつ患者の看護過程		
教科書 参考書	教) 萱間真美ほか編 精神看護学 南江堂 2010 参) 根岸敬矩ほか編『保健・医療・福祉系学生のための臨床精神医学』（医学出版社）2008 看護技術実習ガイド⑤精神科看護技術―その手順と根拠―第3版、山本勝則、藤井博英監修、メジカルフレンド社		
評価方法	試験（90％）、提出物等（10％）から総合的に評価する。講義や演習への主体的な参加態度、演習にはグループへの貢献・協力度を重視する。		
事前準備学習 履修条件等			